

少量多品種にも量産にも応え、顧客からの信頼を獲得

- 納期相談
- コスト相談
- 試作可
小ロット
- 量産対応



現場のモチベーションを引き上げ、技能向上につなげている

業務内容
幅広い材質の機械加工を手がけ、数個から1000個程度の多品種少量品から、24時間稼働の自動化ラインによる量産品まで対応する。航空機用部品などで使われるインコネルのような難削材の加工にも挑戦中。

その一方で溶接機用トーチの製造ではロウ付け加工を得意とする。トーチを冷却するために水を循環させる流路を確保しつつ、複数の部品をロウ付けで取り付ける複雑な工程。「1つのトーチに10個以上の部品が必要で形状は複雑。それを完成品として出荷できるのが強み」と森正雄社長が話すように、溶接機メーカーからの信頼も厚い。

強み
国内生産を堅守し、高品質、短納期で供給

リピート生産品だけで2,000品目を超える製品や部品を加工し、短納期で供給する体制を整えている。納期1週間で数個単位から対応する。森社長が「1ヵ月間で1,000件ものEDI（電子データ交換）のデータを受け取っている」と説明する状況にあっても、納期遵守率はほぼ100%に達するという。取引先は海外への生産移管を積極的に進めているが、同社は国内生産を堅守する。

そのため特殊で高い技術力の必要な加工を手がけ、多品種少量生産に徹底して対応する。さまざまな検査機を導入し、航空機分野にも対応できる品質管理体制を構築している。

人材育成
資格取得に報い、現場のモチベーション向上

取引先の1つであるダイキン工業（株）主催の技能オリンピックで、同社の社員が普通

旋盤部門で国内協力企業大会1位、ゲロバル大会2位という好成績を獲得した。その背景には、これまで進めてきた技能職制度がある。「管理職に就かなくても、技能を評価し報いる制度を作った」と森社長は語る。

NC（数値制御）旋盤や普通旋盤、機械保全などの国家資格の取得をサポートするとともに、有資格者には、等級に応じた職手当を月々の給与に上乘せする。2つ目の資格から半額支給となるが、複数資格を取得する社員も。現場のモチベーション向上につながっている。

今後の展望
新たに航空機分野で実績医療分野などへの参入も狙う

大手2社との取引が売上高の大半を占めているが、「さすがにリーマンショックのときは瞬間的だったが民間関連の仕事が3分の1に落ち込んだ」と森社長は振り返る。将来にわたって事業を安定して成長させるためにも新分野への進出が欠かせないと、平成26年から民間航空機分野の部品加工に乗り出した。

長年にわたって防衛省向けの装備品の加工を手がけてきた実績から、航空機業界に必要な品質管理体制は確立済み。その実力が認められた格好で、金額はまだ小さいながら倍々伸びている。今年からは展示会へも積極的に出展しており、医療分野などへの参入も狙う。



資格取得を奨励し、手当にも反映



ダイキン工業（株）技能五輪で世界2位

当社の歴史



昭和29年創業の「中央機械製作所」が源流で、競合メーカーからの仕事を手がけるため13年後に会社を分離しました。その事業を引き継ぎ形で平成12年に現在の「中央精機」を設立しています。航空機用精密部品や溶接機用部品などを手がけ、機械加工だけでなくロウ付け加工も得意としています。

代表取締役社長 森 正雄さん

<http://www.chouseiki.co.jp/>

主な事業内容

航空機、溶接機・ロボット・レーザー関連部品の機械加工

主な取引先(納入先)

電気溶接機および溶接用ロボット製造メーカー、防衛関連製品製造メーカー

- 住所 〒567-0836 茨木市 目垣2-34-14
- TEL 072-638-9071
- FAX 072-638-9076
- 創業 昭和29年
- 設立 平成12年1月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 35名